



## 第36回ミニトン全日本選手権大会

### 帆走指示書

#### 1. 適用規則

1. 1 「セーリング競技規則(RRS)2013~2016」に定義された規則を適用する。
1. 2 IRC規則2016、Part A、B及びCを適用する。  
尚、艇に搭載するセールの変更を認める。(IRC規則21. 1. 5(d)及び(e)の変更)
1. 3 JSAF外洋特別規定2016-2017 付則B インショア・レース用特別規定を適用する。
1. 4 帆走指示書により変更されたものを除き、矛盾が生じた場合は、帆走指示書を適用する。

#### 2. 競技者への通告

2. 1 競技者への通告は、浦安マリーナクラブルーム内に設置された公式掲示板に掲示する。また、海上にて本部船にL旗を掲揚し掲示、および口頭で行う。

#### 3. 帆走指示書の変更

帆走指示書の変更は、それが発効する当日のレーススタートの1時間前までに、公式掲示板に掲示する。また、海上にて予告信号前までに本部船に変更内容を掲示する。ただし、レース日程の変更は前日の17時までに掲示する。

#### 4. 陸上で発する信号

4. 1 陸上で発する信号は、浦安マリーナクラブハウス前に設置されたフラッグポールに掲揚される。
4. 2 B旗が音響信号1声と共に完全に掲げられた時は「抗議の受付を開始した」、また、完全に降下した時は「抗議の受付時間を締め切った」ことを意味する。

#### 5. 大会の日程及びレース予告

##### 5. 1 レースの構成

本大会は、9月17日受付、インスペクション、体重測定、艇長会議、9月18日(日)インショア・レース(4レース)、9月19日(月・祝) ショート・ディスタンス・レース(1レース)の計5レースを予定する。

##### 5. 2 日程及びレースの予告信号予定時刻

9月17日(土)

- |             |                     |
|-------------|---------------------|
| 14:30~16:30 | 受付、インスペクション、体重測定    |
| 17:00~17:30 | 艇長会議 (場所 浦安マリーナ会議室) |
| 17:30~      | ウェルカムワンビアパーティー      |
- 会場:浦安マリーナ(参加費無料)

9月18日(日)

08:55

第1レース(インショア・レース) 予告信号の予定時刻。

引き続きインショア・レースを行う、本部船からフラッグによって指示。

レース終了後引き続いて行われる次のレースの予告信号は、本部船に掲げられたJSAFクラブバージ旗の降下1分後、音響信号1声とともに発せられる。また、このJSAFクラブバージ旗は、次のレースの予告信号が掲揚される最低4分以前に掲揚され、競技者に注意を喚起させる。

18:00

ウェルカムパーティー

会場:舞浜ユーラシア・ホテル棟8階から通路の先がスパ棟6階 (エトワール)

9月19日(月)

08:55

第5レース(ショート・ディスタンス・レース) 予告信号の予定時刻。

ショート・ディスタンス・レース終了後、引き続き未消化のインショア・レースを行う場合がある。(本部船のフラッグに注意)

ただし、15時以降のスタートはない。

16:00

表彰式 浦安マリーナ

尚、未消化のレースが無い、又は、早く終了した場合、表彰式を早める場合がある。

## 6. クラス旗

6.1 クラス旗は次のとおりとする。国際信号旗 数字旗7を掲揚すること。

6.2 レース参加艇は上記クラス旗を、自艇のレースが終了するまで旗の下辺がデッキより 1.5m 以上の高さになるようにバックステイに掲揚しなければならない。

## 7. レースエリア

インショア・レースは東京ディズニー・シー沖の海面、ショート・ディスタンス・レースは東京ディズニー・シー沖海面から東京アクアライン海ほたる手前の海面とする。

## 8. コース

8.1 付属文書A(インショア・レース)および B(ショート・ディスタンス・レース)に通過するマークブイの順序及びそれぞれのマークブイを通過する側を含むコース図を示す。

8.2 インショア・レースにおいては、予告信号前に、本部船のスターンのホワイトボードに最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

8.3 ショート・ディスタンス・コースのおおよその距離は約9マイルである。

## 9. コースの短縮

コースを短縮する場合は、RRS32に従い行われる。

ただし、ショート・ディスタンス・コースの場合は東京アクアライン海ほたる手前のマークブイとS旗を掲げた運営船のポールとの間とする。

## 10. マークバイ

- 10. 1 インショア・レースのマークバイ1、2は【黄色円筒形バイ】とする。
- 10. 2 予備のマークバイは三角形のオレンジ色のものを使用する。

## 11. スタート

- 11. 1 レースは、RRS26を用いて、予告信号をスタート信号の5分前として、スタートさせる。

予告信号	数字旗7	音響 1声	5分前
準備信号	P、I、Z、I と Z、または黒色旗	音響 1声	4分前
準備信号の降下		長音 1声	1分前
数字旗7の降下		音響 1声	スタート

- 11. 2 スタート・ラインは、スターボード端にある本部船のミニトン大会旗を掲げたポールと、ポートの端にあるマークバイの間とする。スタート・マークバイは本帆走指示書10. 1に示す。
- 11. 3 スタート信号の10分より後にスタートする艇は、「DNS」と記録される。「この項は RRS 付則A5を変更している」

## 12. コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更するために、レース委員会は予備マークバイを設置し、(またはフィニッシュ・ラインを移動し)、実行できれば直ぐに元のマークバイを除去する。その後の変更で予備マークバイを置き換える場合、そのマークバイは元のマークバイで置き換える。予備マークバイは本帆走指示書10. 2に示す。

## 13. フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、ポートの端にある大会旗を掲揚している本部船のポールと、スターボードの端のフィニッシュ・マークバイの間とする。フィニッシュ・マークバイは本帆走指示書10. 1に示す。

## 14. タイム・リミット

- 14. 1 インショア・レースの全艇のタイム・リミットはスタート後90分とする。これは RRS35を変更している。
- 14. 2 インショア・レースにおいてマークバイ1を30分以内に1艇も回航しなかった場合は、そのレースを中止する。
- 14. 3 ショート・ディスタンス・レースの全艇のタイム・リミットは、同日14:00とし、それまでにフィニッシュしない艇は審問なしに「DNF」と記録される。これは RRS35、付則A4、A5を変更している。
- 14. 4 ゼネラル・リコール等が行われ、スタート時間が変更になっても全艇のタイム・リミットの変更はない。

## 15. 抗議と救済の要求

- 15. 1 抗議書は陸上本部(レース委員会)で入手できる。抗議、救済要求および審問の再開の要求は、適切な時間内に陸上本部に提出されなければならない。
- 15. 2 抗議締め切時間は、その日の最終レース終了後90分とする。
- 15. 3 当事者であるか、または証人として名前があげられている審問に関わっている競技者に通告するために、抗議締め切時刻後30分以内に通告を掲示する。  
審問は原則として浦安マリーナ・ボート免許教室において行われる。

## 16. 失格に代わる罰則

16. 1 RRS第2章に関する規則違反はRRS44. 2(2回転ペナルティー)を適用する。
16. 2 マークブイと接触した場合は1回転ペナルティーを適用する。
16. 3 RRS第2章(航路権)違反を除き、プロテスト委員会は、その違反が軽微と認められた場合には、失格に変わる罰則として、タイムペナルティーを最高5%の範囲内で科すことができる。

## 17. 得点

17. 1 順位は、各艇の所要時間にTCCを乗じて秒単位で修正時間を算出(秒未満は四捨五入)し、修正時間の小さい方を上位とし、順位に合わせて得点を付与する。
17. 2 修正時間が同値の場合は、TCCの数値が小さい方の艇を上位とする。
17. 3 得点は、付則Aの低得点方式を適用する。ただし、レース毎に次の係数を掛け、得点を計算する。  
インショア・レース                    × 1. 0  
ショート・ディスタンス・レース   × 1. 3
17. 4 RRS付則A2「シリーズの得点」の定めにかかわる得点の除外を行わない。
17. 5 本シリーズは、1レースの完了をもって成立する。

## 18. チェックイン

レース参加艇はその日の最初のスタート予告信号までに、L旗を掲げた本部船のスターン近くを通過し、艇名の確認を受けること、最初のレース以降は省略する。

## 19. 帰着申告

フィニッシュをもって帰着申告に代える。

19. 1 リタイヤした艇およびフィニッシュしなかった艇は速やかに本部船に連絡すること。  
(電話番号:080-6513-3724)
19. 2 ショート・ディスタンス・レースにおいて、タイム・リミット後120分を経過しても、レース委員会に連絡のない艇については、出艇申告書に記載された緊急連絡先に通知し、協議の上、海上保安庁に捜索の要請を行うことがある。

## 20. 個人用浮力用具

Y旗の掲揚にかかわらず個人用浮揚用具を着用しなければならない。これはRRS40を変更している。

## 21. 乗員の変更と装備の交換

21. 1 乗員の変更は、事前提出の出艇申告書(乗員リスト)に記載された乗員に関してのみ、レース委員会に書面でその日の最初のレースの1時間前までにレース委員会に申告することで承認、許可される。  
ただし、艇長の変更は原則認められない。
21. 2 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会の承認無しでは許可されない。交換の要請は最初の適当な機会にレース委員会に行なわなければならない。

## 22. インスペクション

艇または装備は、レーティング証書と帆走指示書にしたがっていることを確認するため、いつでも検査されることがある。水上では、艇は、レース委員会計測委員により検査のために直ちに指定エリアに向かうことを指示されることがある。

## 23. 運営艇

レース運営艇の標識は次の通りとする。

本部船	ミニトン旗を掲揚したモーターボート(艇名	)	艇体	色	フィート
マークボート	ミニトン旗を掲揚したモーターボート(艇名	)	艇体	色	フィート

## 24. 支援艇

支援艇は、準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、艇がレースをしているエリアの外側にいなければならない。この要件に従わなかった場合は、ペナルティーとして違反した支援要員に関連する全ての艇を失格とすることがある。

## 25. ごみ処理

艇は、ごみを水中に捨ててはならない。

## 26. 上架の制限

レース参加艇はレース委員会の事前の許可がある場合を除き、大会期間中上架してはならない。

## 27. 無線通信

緊急の場合を除き、レース中の艇は無線送信も、すべての艇が利用できない無線通信の受信もしてはならない。またこの制限は、携帯電話にも適用する。

ただし、全レース艇が同じように受信できる情報(GPS、天気予報、海象気象に関する情報)はこの限りではない。

## 28. エンジンの使用

落水者救助、遭難艇救助、他の船舶との衝突回避、離礁その他の緊急かつ切迫した事態に対処するためにエンジンを使用することができる。

ただし、エンジンを使用した場合は、その状況(使用した目的・時間・場所等)を記入した「エンジン使用報告書」をフィニッシュ後速やかにレース委員会に提出しなければならない。

## 29. 賞

総合1位～3位にカップを授与する。

総合1位には、石原慎太郎カップ、ミニトンカップ、菅原留意杯を授与する。

ショート・ディスタンス・レースのラインオーナーには、ファーストホーム賞としてカップを授与する。

## 30. 責任の認否

30. 1 競技者は、自分自身の責任で参加する。RRS4参照。

30. 2 主催団体およびその他の大会関係者は、大会の前後、期間中に生じた物理的損害または身体傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

## 31. 保険

レース期間中、有効なヨット損害賠償保険に加入し、大会期間中の事故に対して有効であることを確認していること。

### 32. レース委員会の設置

本大会のレース委員会は、浦安マリーナクラブハウスに設置する。

開設時間

9月17日(土) 12:00～17:00

9月18日(日) 8:00～17:00

9月19日(月) 8:00～17:00

電話番号:047-355-2222(浦安マリーナ)

FAX 番号:047-351-6999(浦安マリーナ)

緊急時にはレース委員会を解散しない。

#### (訂正履歴)

平成28年9月9日 18時00分 一部訂正

訂正1、8. コース 8.2 距離は約16マイルである。→ 約9マイルに訂正。

訂正2、コース図 付属文書C ショート・ディスタンス・レースコース図を差替える。

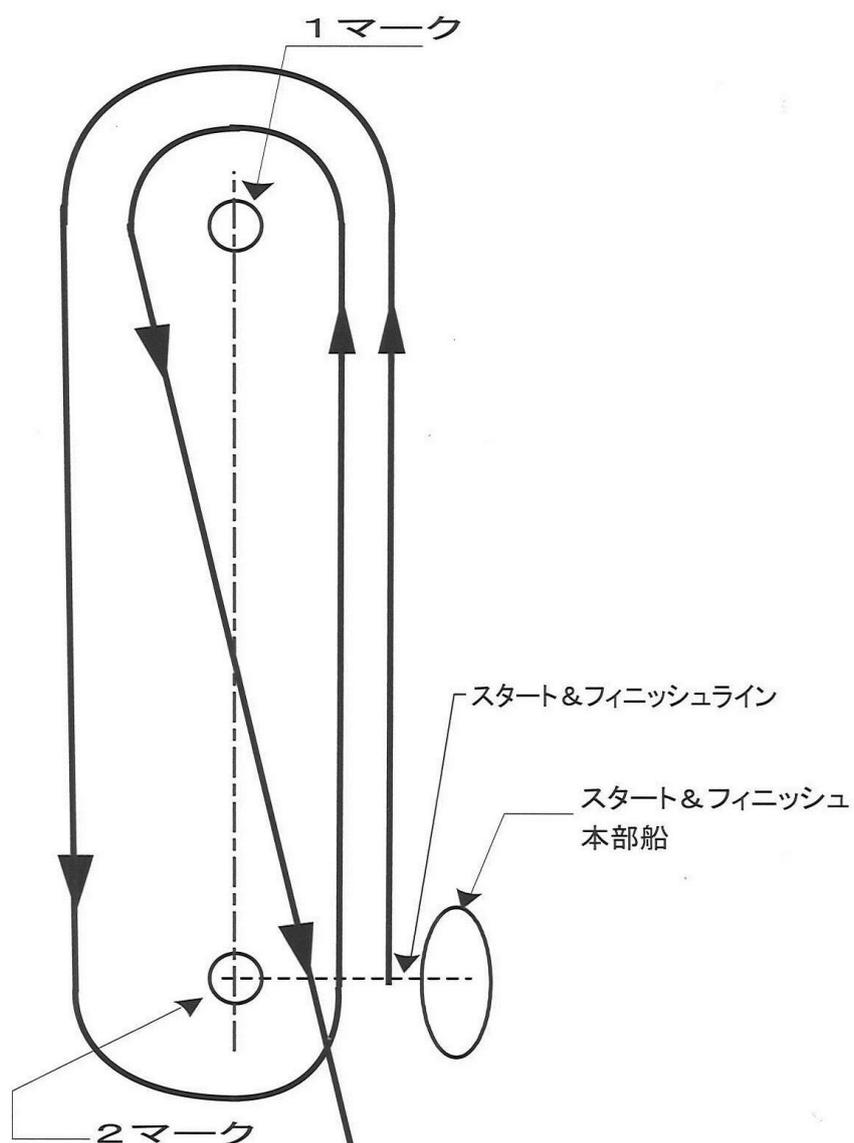
以上

## コースの図示

### 付属文書A

インショア・レース、ショート・ディスタンス・レース共、各マークは、ポートに見て回航する。

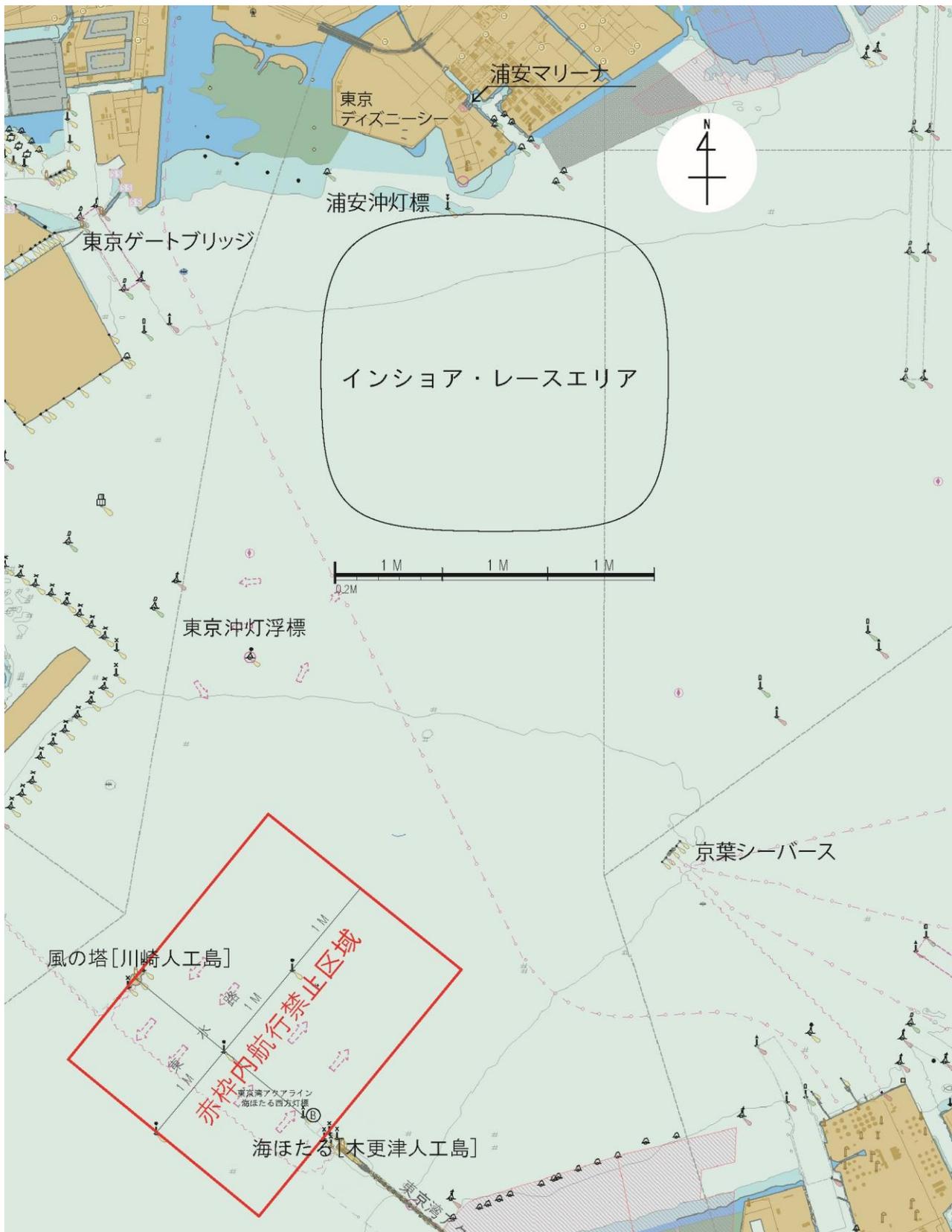
コース: Start→1→2→1→Finish



付属文書A、B、Cのスタート及びフィニッシュエリア並びに、ショート・ディスタンス・レースコースの回航マークの緯度・経度はあくまで大よその数値であり、抗議や救済要求の対象にはならない。

## 付属文書B

### インショア・レースエリア



# 付属文書 C

## ショート・ディスタンス・レースコース図

